

# 令和5年 第7回文教厚生常任委員会会議録

令和5年6月7日 議員控室

## ○事 件

協議事項

(1) 付託のあった請願書の審査

## ○出席委員（8名）

委員長 赤 井 睦 美 君  
大久保 建 一 君  
齋 藤 實 君  
黒 島 竹 満 君

副委員長 佐 藤 智 子 君  
倉 地 清 子 君  
関 口 正 博 君  
能登谷 正 人 君

## ○欠席委員（0名）

## ○出席委員外議員（2名）

議長 千 葉 隆 君

三 澤 公 雄 君

## ○出席説明員（0名）

## ○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君

事務局次長 成 田 真 介 君

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（赤井睦美君） それでは皆様お疲れのところありがとうございます。  
ちょっと早いんですが始めます。

◎ 協議事項

○委員長（赤井睦美君） 今日は請願についてなんです、皆さんお手元に請願の用紙はありますか。

紹介議員から内容の説明をお願いします。

○委員外議員（三澤公雄君） もう既にお手元に配付されているので、配付されているので、これを長々と読むのもなんだなと思いますので、かいつまんでお話しをします。

庁舎建築ってこのタイミングを逃すと、文化ホールの建設はないんじゃないかと。それで彼らがこの団体さん、文団連が庁舎建設の議論のときは文化ホールの話はあったと指摘されて、それで自分も資料を引っ張り出して読むと、確かにそういった視点があったんですが、いつの間にかそれが抜け落ちていたので、彼らの指摘を改めて受けて非常に僕も同感に思ったので署名議員になりました。決して高いものを求めているわけではありません。今ある施設の中で彼らの中ではシルバープラザのホールを改修するほうがいいんじゃないかって提案がされています。

求めているものはいわゆる楽屋として機能できるように上手下手がはっきり入れる融通性があるって控室もしっかりとしていて、そして照明音響が充実している、音響はアーティストの音がそんな色なく住民の心に届くような、そういった音響施設を持つことは確かに音楽系の部活動なんかも縮小していますが、それはやっぱり先生方の問題もありまして、指導者がいない、今、部活動も外部支援ってかたちが文科省も動いてきています。その中で吹奏楽なんかとか、あと例えばもし演劇部なんかが起こった場合、ダンス部が起こった場合は、率先して私たち大人が応援するかたちはできてる。だから彼ら彼女らの発表の場もそういったグレードの高いホールがあると充実するはずだし、そういった思いを彼らから受けました。是非、この間の町民説明会で町長は建てるってもう決まってるということを言いましたが、議会は議会で文団連の方と議論する場を、せつかくの機会ですから、文厚の皆様もしくは全議員でお話し合いする場なんかを持つためにも、この請願を是非前向きに受け取ってもらえないかなと思います。読むより長くなって申し訳ありません。

○委員長（赤井睦美君） それではこの請願について質問はありませんか。

○委員（斎藤 實君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 斎藤議員。

○委員（斎藤 實君） 質問ではないんですけども、たとえばないよりはあったほうがいいよねって。ただ、ずっと八雲の、たとえば図書館の小ホールを見てもどれだけ活動しているのかなって、そんなに多くないんですよね。せつかくあれだけの施設を整えていても、入る人数が少ないから使いづらいつて考え方もあるだろうけれども、それともどうなんだろうかね。そしてある程度の大きいステージとなったら、結局北斗にあるような、いろんなバ

ンド来たりしてもやってるんですが、相当あちこちに営業をかけなければゆるくないんだよね。そういう話もたまたま議会の研修会でも使われるので、働いている人達の話聞いていても、やはりある程度の人口形態がないと、ちょっと大変なのかなって感じは受けるんですよ。だから、プロの人達を呼んで、どんどんやるって考え方なら必要だろうけれども、でもそれだって、年間にしたらどれだけの数ができるのかって心配もあるんですね。ですから、今説明にもありましたように、シルバープラザのステージ、今あそこが使いづらいというなら使いやすく改修したほうが一番いいんじゃないかって、これずっと文書を読んでいて、そういう印象を私は持っております。できればそういう方向のほうがいいのかってふうに考えるんですけどもね。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） 今、斎藤委員が言ってくれていた、改修したほうがいいのかというのあってもいいのかと思います。私まだ八雲町のことをあまり知りませんが、今ある施設の音響設備が整っているというのは実際にはないんですかね。あるものを実際に使えるようにできるところがあったら、お金をかけなくてもいいのかって思いがあります。

○委員外議員（三澤公雄君） 二つの質問に答えたらいいのかな。

○委員長（赤井睦美君） 三澤議員。

○委員外議員（三澤公雄君） 僕の知っている限りで答えたいと思いますが、最終、最後では斎藤さん改修を進めてくれたので、それは文団連の望みと一緒に、表題が建設と書いていますが、彼らではシルバーって。だけど議員の中で話し合ったときに、この請願に前向きな人達の中では、町民センターの改修のほうがずっと具体性があると。確かにシルバーより駐車場は狭いけれども、その方がおっしゃるには、近隣の町営住宅が老朽化で解体のタイミングだと。これ以上、町営住宅というのは数的には増やさない背景もあるから、駐車場問題はそれで解決できるし、元々町民センターは調整するブースが上にあって、演じている人達のこと見ながら、照明なんかもいじる機能はある。だけど設備が古くなってるから建物の改修は最小限でできるし、設備の入れ替えは古いものだから当然だろうと、だからシルバーより町民センターがいいんじゃないかってお話もされました。そういうことも含めて文団連とお話をしていくことが大事かなと、町民と対話できる組織として議会をアピールする上では良い機会かなと思います。

そして倉地さんの質問に関しては、僕は耳は肥えていませんが、彼ら演じる側、音を出す側から行くと八雲で音響が整っている施設はないそうです。それをサポートする音響関係の会社さんがありますが、非常にシルバーなんかは苦勞するんですって、設備をそのときそのとき臨時的にするにしても。今は八雲にはそういう場所はないです。一つモデルとなるのは、長万部にある音楽ホールレベル、クラスの、実際に八雲の高校や中学校のブラスバンドも練習に行ったりする場所があるんですけども、それでも入れれば何百人になるのかな。町民センターでは、今、僕は関わっている興行ではプロレスしか知りませんが、千人を超える観客が入りましたし、そういったレベルの興行であれば、もっともっとやりたいって文団連言っています。今八雲町の施設を借りたときに、そういった興行めいたことはできない規約になってるって、彼らは話をするんですね。非常に使いづらい、教育的なものではないとな

かなかできないとか、だから、たとえば文化ホールが指定管理者なんかを指定してくれるなら、真っ先に手を上げたいし、稼働日数をしっかりと作って、計画に見合う稼働日数を確保する、熱意はあるように見受けられました。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 関口委員。

○委員（関口正博君） これからの施設整備の考え方といいますか、庁舎は別にして、これは全体的に町として必要な物ですから、自分は先ほど三澤さんの言葉の中に、吹奏楽が長万部に言って練習したり、発表会をやっているということに関して、わが町に何もかもないと駄目だという考え方は、ある程度取り払っていてもいいと思っている人間なんです、自分は。だから長万部にそのような立派なものがあるなら、たとえば交通体系をきちんと整えて、そこに送り迎える体制を町が整えたり、これは逆もまた然りで、長万部で建設できないモノ、またこれ北部桧山のほうもそうなんだけれども、お互いに施設を融通し合って、ここはここで、ここはここでってやり方をしていけないと、これからの自治体、ましてやこの公共の建物の考え方は、絶対今までどおりいかないのは目に見えている話なので、僕は施設整備に関しては斎藤さんの言い分に近いというか、改修して、もし町内で必要なら改修して、なるべく安価にと考えであります、ただ、自分も高校の頃バンドやっていたりして、僕は函館だったから八雲の人達は発表会も含めて練習する場も含めてどういうふうに行っているんだらうと。昔はよく山のほうでバンドの音が聴こえたりして、そういうことをやっている方はいたんでしょうけれども、最近はそういうのも聞かなくなって、逆に練習する施設もないから、そしてそういうホールの的なものもないから、そういうのが根付かないという、こういう発想もやはり必要なのかなと。そういうものを、文化的な活動というものはもっとも増えて、という側面も、やはりこれ町としては考えなければならぬのかなっていうのも強く感じるんですよ。

○委員（大久保健一君） どっちよ、したら。

○委員（関口正博君） だから、これいろいろなパターンを考えるべきだと思います。こういう、せっかく請願をいただいたので、長万部で使うパターン、寄り添いながら使っていくパターンと改修するパターンと、新しく建てるパターンと。先日、町長も言ってたけれども、いろいろなパターンを比較検証しながら、検討してみてもいいのかなというふうには今は思います。ちょっと曖昧な答弁で申し訳ないけれども、施設整備に対する考え方は、僕は近隣町村でしっかりと分け合いながらやっていく、そのことが八雲のためになると、俺は基本は思っています。最後は病院も、と思っています。

○委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。

○委員（大久保健一君） とりあえず今は請願を採択するかしないかでしょ。

○委員長（赤井睦美君） ただ、内容が曖昧なまま、採択しようってならないので、一応自分の疑問は払しょくしておいたほうが。さっき三澤さんも言いましたが、建設と書いてるから新しく建てなければとなっちゃうけれども、よくよく聞いたら改修でいいんだよって。

○委員外議員（三澤公雄君） 今彼らの中にはないと。文化ホールの的なものがないと、それに価値するものがないから作ってほしい、なので建設って言葉を選んだんですね。最初からこ

こを改修って、具体的なことも僕たちは偏ってるかもしれないから、議員の知見も借りたいという意味で、建設というのはそういう意味です。

○委員長（赤井睦美君） 私は説明会に出てないので、今朝の新聞だったら、町長が建てますって言っちゃったというのがあるので、それも含めた上で請願を採択するというか、そういうところで皆さん。

○委員（大久保健一君） 建てますといたら、もういいんじゃないの。

○委員長（赤井睦美君） でも改修でって、私たちは改修でって意見もあるから、そこもちゃんと話し合いながら。

○議長（千葉 隆君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 三澤さんが紹介議員だからあれなんだけれども、誰から説明を受けたか分からないけれども、結構ね、文団連の事務局みたいな人の話を聞いたら、防衛整備周辺整備の部分もして、そういうのを活用して改修してほしいと。それが以前は町民センターでアスベストの問題があったから、そのアスベストの問題を解決しながら改修してほしいってことも、だからシルバーありきでないみたいだから、だからある程度予算的な部分も新庁舎つくるからということ念頭において、逆にある程度実現可能な予算付けも含めて、要望したいというような希望は持っていたから、紹介議員の三澤さんがいうように、一度文団連の人たちのお話を聞いてみるのが、一番最初かなっていうふうに思っていました。だから中身を聞かないで建てますって、議会はやらないほうがいいと思うので、ある程度、その辺はまずは聞いてみたほうがいいのかなって、そんな無理な要望じゃないかなって思うんですね。

○委員（斎藤 實君） そしたら懇談するという方向で、だけど、この請願、そしたらどう扱ったら。

○委員長（赤井睦美君） 聞いてから採択よりは、反対はいないですよ、改修であれば。だから採択するけれども、一度話し合いましょうって。それとも採択するために。

○委員（斎藤 實君） 委員長報告でやったら駄目かい。

○議会事務局長（三澤 聡君） 一つには、この請願自体の結論を継続調査に持って行って、それで次9月なんですけど、9月に向けてその間に文団連と話をするというのが一つと、もう一つは、今採択というふうな方向で結論を出した上で、細かいところは今後文団と話して、その結果は委員会から町のほうに、というようなかたちかなというふうに思うんですけども。それで継続してやるほうがいいのかなって思います。

（何か言う声あり）

○議会事務局長（三澤 聡君） 9月ないしは今予定されているのが、7月に臨時会が予定されていますので、そこは時間ないですね、7月は。そしたら9月か。

○委員（斎藤 實君） 9月まで三澤さんどうなんですか。

○委員外議員（三澤公雄君） 話し合うことにも彼らは興味を持っていますから。

○委員長（赤井睦美君） 前に文厚で子育てに対してか医療費に対してか忘れたけれども請願書が出てきてその方たちと話をして、一部採択という結果のときがあったんですね、だか

ら今回その一部採択にしますとかではないけれども、もちろん大反対とかみんな反対ではなくてちゃんとお話を聞きたいというところで、継続で日程調整って紹介議員がするの。

○議会事務局長（三澤 聡君） それは団体との。

（何か言う声あり）

○委員外議員（三澤公雄君） 採択なら事務局だけど継続審査だからそういう話になるの。

○議会事務局長（三澤 聡君） 紹介議員さんと相談して。

○委員長（赤井睦美君） 前は紹介議員さんが日程調節して委員会を。

○議会事務局長（三澤 聡君） 団体とのですがね。

○委員長（赤井睦美君） だから文団連の方がいいですかって言って。

○議会事務局長（三澤 聡君） 次が定例でいったら7月の定例がありますが。

○議長（千葉 隆君） それも日程伝えたら。

○委員長（赤井睦美君） 12が臨時会ですって。

○議会事務局次長（成田真介君） 20日。

○議会事務局長（三澤 聡君） 20日になります。

○委員長（赤井睦美君） 6月13日は文厚。

○委員外議員（三澤公雄君） じゃあ6月13日も提案してもいい。

○委員長（赤井睦美君） 文厚はたくさんあるわけではないから。

○議会事務局長（三澤 聡君） 今のところ2つ。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） だいたい11時くらいで聞いてみて、それが駄目だったら、じゃあそれで話し合うということでもよろしいですか。

○議会事務局長（三澤 聡君） そしたらこの件については今回の定例会で継続審査の申出書を作って出すという流れで行きたいと思います。

○委員長（赤井睦美君） よろしくお願いいたします。

文団連の人達が文化祭をいつもやっていますが、使いやすいのは町民センターで、シルバーステージはものすごく使いづらい。

○委員（関口正博君） シルバーステージの小さいトレーニングルームみたいなどころって結構な広さありますよね。

○委員長（赤井睦美君） トレーニングルームじゃない。本当に大きい。

○委員（関口正博君） 大きいところじゃなくて昔トレーニングジムみたいなどころ昔行ったんだよな。あそこでどういう使い方されてるのか知らないけれど。

○委員長（赤井睦美君） あそこは健康施設。

○委員外議員（三澤公雄君） ランニングマシンがあるところ。

○委員長（赤井睦美君） そうそう。

○議会事務局長（三澤 聡君） 総合体育館ですね。

○委員（関口正博君） シルバー。まだ使ってるの。

○議会事務局長（三澤 聡君） やっています。

○委員（関口正博君） あそこちょうどよくない。

○委員長（赤井睦美君） せまい、小さい。

- 議長（千葉 隆君） あれくらいなら図書館にある。
- 委員長（赤井睦美君） ステージが小さい。図書館はステージが小さすぎる。
- 委員（関口正博君） 大ホールの使用頻度ってどれくらいなの。  
（何か言う声あり）
- 委員（関口正博君） 音響は改修で何とかならないの。
- 委員（大久保健一君） なんない、反響とかだから。
- 委員（黒島竹満君） 全然ダメ、逆に町民センターのほうがいい。
- 委員（大久保健一君） だって内装材っていっても片面窓でしょ。
- 委員（関口正博君） とじちゃって。
- 議長（千葉 隆君） （何か言う声あり）
- 委員（黒島竹満君） あそこどっちにしてもこのあと使わないなら、あそこ直して使わせたほうが。
- 委員（倉地清子君） ちょっとまた変な質問になっちゃうと思うんですけど、たとえば山崎小学校みたいなのところも駄目なんだ。
- 委員長（赤井睦美君） もうきつとね、何年も使っていないじゃないですが、開けてないでしょ、多分改修は絶対必要だと思う。
- 委員（関口正博君） だから改修するにもその起債が使えるか使えないか建物によってあるっていうんですよね。
- 議長（千葉 隆君） 体育館は無理だわ。
- 委員（斎藤 實君） もったいないよね。
- 議長（千葉 隆君） やれることはやれるけど費用がかさむから、だから一番あまり費用がかからないのが町民センター。
- 委員長（赤井睦美君） なんか養護学校の体育館を使ってって町長がずっと前に言ってたんだけど、相当大変みたいですよ。相当お金がかかるんですって。  
そしたらこの件に関しては継続調査ということによろしいですか。  
（「はい」という声あり）
- 委員長（赤井睦美君） じゃあ以上で何かほかにありませんか。  
（「なし」という声あり）
- 委員長（赤井睦美君） ありがとうございます。お疲れ様でした。

〔閉会 午後2時31分〕